

IT21 の会 (平成 16 年 12 月) 第 83 回議事録

日 時 : 平成 16 年 12 月 3 日 (金) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

場 所 : 日本技術士会 葦手第二ビル 5 階 A・B 会議室

出席者 : 20 名 CPD ポイント : 1 ポイント

配布資料

- ・ 0412-1 IT21 の会 12 月例会案内 (横井弘文 氏)
- ・ 0412-2 第 8 期補正予算について (吉川博晴 氏)
- ・ 0412-3 金銭価値の電子化 (横井弘文 氏)
- ・ 0412-4 CPD 中央講座、新春記念講演会資料 (黒澤兵夫 氏)

議 事

- 1 . 議事予定と資料確認 (横井弘文 氏)
- 2 . 第 8 期補正予算について (吉川博晴 氏)
資料 0412-2 が紹介された。補正予算自体に関する ML での反論は無かった。ML での詳細についての意見の説明が行われた。説明も含めて異議が無かったことで、役員承認後に執行予定。
- 3 . CPD 中央講座、新春記念講演会のお知らせ (黒澤兵夫 氏)
技術士会内の特別委員会でほぼ決定した CPD 証明書の紹介があった。来年 1 月から施行予定。また資料 0412-4 をもとに、12 月度の技術士 CPD 中央講座(12 月 11 日技術鑑定)や新春記念講演会が紹介された。新春記念講演会は、1 月 12 日、元日本銀行総裁の三重野氏の講演。
- 4 . 金銭価値の電子化 (横井弘文 氏)
イントロとして、子供は現金での購入は理解できても定期券による改札通過が理解しにくいことや、具体的なカード類を通して電子化の浸透ぶりが紹介された。
金銭価値には、現金やクレジットカード等のペイメントカード、電子マネー、有価証券、その他 (NTT の電話加入権など) がある。物々交換 ~ 物品貨幣 ~ 金属貨幣 ~ 兌換紙幣 ~ 不換紙幣という歴史を歩んできた。不換紙幣の発行は 1931 年で、まだ 1 世紀経っていない。貨幣と紙幣の電子化として預貯金を、貨幣と紙幣の取引システムとして自動販売機を捉えることが出来る。
クレジットカードやプリペイドカードには、ISO/JIS 規格や法的な制限がある。クレジットカードの偽造被害が、年間 100 億円以上である。また、クレジットカードの発行残高は、個品 (車の購入など、利用の都度に信用を受けるために契約を結ぶ) の割賦 / 非割賦の残高や消費者金融の残高より低い。
プリペイドカードにはプリペイドカード法による供託義務がある。プリペイドカードの取引額は急激に減少中であり、複数社のビール券等販売終了されるものもある。
電子マネーの定義として定説は無い。1998 年には実証実験の多くが終了し、清算している。電子マネーとしては、“ちょコム” や “Suica” などがある。
株券の電子化が実施予定であり、債権 (手形・小切手) の電子化の検討が進みつつある。

以 上 (記載者 : 本田和幸 記)